

平成30年度 学校経営方針

校長 一条 秀雄

○はじめに

- (1)平成30年度、島守小学校はに創立145周年をむかえました。歴史と伝統を誇る学校です。八戸市階上町学校組合立田代小学校と統合して2年目となりました。今年度は、児童数36名、職員数11名で進んでいます。
- (2)いじめや不登校などの問題もなく、明るく素直で元気な子どもが多く、あいさつ運動や「立腰(りつよう)」に取り組んでいます。(立腰とは、腰の骨[骨盤]を立てること)・・・〈体が元気で健康になる。集中力、忍耐力、心の安定に効果〉
- (3)保護者・地域の皆様のご支援・ご協力のおかげで、充実した多くの体験学習を行っています。郷土に愛着を持ち、「心を育てる」ということにつながっています。(炭焼き体験、自然農法による米作り、学校園での栽培活動、サツマイモ栽培[瑞泉郷]、そば挽き・そば打ち体験等)(地域密着型教育推進事業)
- (4)島守中学校や市野沢保育園と連携して、地域に根ざした教育活動を進めています。特に島守中学校とは小中合同運動会(5月27日)を行ったり、6年生と中学生が学習会をしたり、6年生が中学校の新人戦壮行会に参加したりと、児童生徒、教職員間での交流も積極的に行っています。小・中学校の接続がなめらかに行われ、成長が促されるよう教育活動を進めています。(小・中ジョイントスクール推進事業)
- (5)体育館は41年前に、校舎は22年前に建設。(耐震補修・緊急避難場所)
- (6)安全・安心な学校づくりに努めています。

◎八戸市学校教育指導の方針：「いのちの教育」を基底に、「生きる力」を育む学校教育の充実に努めます。(心づくり・体力づくり・人間づくり)

★キーワードは「命は一つ」→「自分の身は自分で守る」(昨年からの継続)

※「非常災害時における対応」を把握してください。

※「安全情報配信システム」の完備 全家庭に加入していただきました。

I 経営の理念

- (1) 児童への学力保障及び成長保障
- (2) 児童の立場に立っての「生きる力」の育成
- (3) それぞれの教師の資質の向上及び組織としての機能の発揮
- (4) 家庭や地域に開かれた学校



1 教育目標 『心豊かにたくましく生きる子ども』

2 めざす学校像・子ども像・教職員像

(1) めざす学校像

『～来がい・やりがい・学びがい～ のある学校』 + 『安全・安心な学校』

①確かな学力と豊かな心を育む学校 【経営の理念(1)、(2)】

学力の個人差があることを踏まえ、個に応じたきめ細やかな指導を行うとともに「豊かな心」が育ってくれば、「学力」も身に付いてくると考え、根気強く心も育てていく。そのことにより、基礎学力を身につけさせ、基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身につけさせることをめざす。

②児童と教師が共に高め合う学校 【経営の理念(2)、(3)】

教職員の後ろ姿が子どもを育てるともいえる。率先垂範で大切なもの、価値あるものに取り組んで行かなければならない。各行事や各教育活動に意欲的に取り組む学校、部活動で共に心身を鍛えていく学校、児童と教師の信頼関係を築き、共につくりあげていく学校をめざす。

③家庭・地域と連携し、信頼される学校 【経営の理念(4)】

学校の活動の様子や学校の考えを発信し、様々な意見や要望を受信することでお互いの信頼関係を築く。また、家庭でしつけること(家庭の役割)、学校でやらなければならないこと(学校の役割)についても理解を深めていく。また、学校を取り巻く望ましい環境づくりのために、家庭や地域での役割が重要であることを保護者、地域に発信し、理解を深めていく。

④安全・安心な学校【経営の理念(2)、(4)】

教職員の共通理解による安全管理、安全指導のもと、事故等の要因となる学校環境や子どもたちの危険な行動を早期に察知し、適切かつ具体的な指導に努める。保護者や地域の関係諸機関と連携を図り、子どもたちが事故にあったり、事件に巻き込まれたりすることがないように万全を期す。



(2) めざす児童像(=努力目標)

①思いやりのある子

- 視点1 友だちと仲良くし、互いに協力できる子
- 視点2 元気に挨拶・返事ができ、姿勢の良い子

②進んで勉強する子

- 視点1 めあてをもって、主体的に学習に取り組む子
- 視点2 基礎・基本を身に付け、自分の思いや考えを発表できる子

③進んで心身をきたえる子

- 視点1 運動・健康のめあてをもち、進んで取り組む子
- 視点2 良い習慣を心がけ、規則正しい生活ができる子

(3) めざす教職員像

- ①自己の研鑽を積み、確かな学力の定着と向上に努める教職員
- ②児童と共に行動し、児童の変容に努める教職員
- ③組織の中で自己の力を発揮し、同僚性を大切にして協働する教職員

II 学校目標について(平成30年度1年間で達成をめざす学校課題)

1 学校目標 『個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の確実な定着を図る』

2 重点施策

- ①基礎学力(読む・書く・計算)を確実に定着させるための指導を徹底させる。
- ②授業の改善(基礎・基本の定着、主体的な学習)を図る。
- ③家庭と連携し、家庭学習の習慣化及び質的充実を図る。



3 具現化の方策

- ①特別支援教育の視点に立った授業づくり、環境づくりを行う。
- ②主体的な学習になるよう授業の工夫・改善を行う。
- ③複式指導での学習リーダー(ガイド)の育成を行う。(単式指導においても生かす。)
- ④学力テスト(NRT・CRT)や学習状況調査の結果を分析し、その活用を行うことで基礎・基本の定着及び学力向上を図る。
- ⑤学習後の確かめや看取りを充実させる。
- ⑥島守っ子カード(指導に対する自己評価表)を活用した児童の指導目標の設定と評価を行う。
- ⑦読書活動を推進する。(朝読書、読み聞かせ、冬休み読書感想カード、図書室利用の推進、移動図書館の利用)
- ⑧復習タイムを15:30~16:00に設定し、児童一人ひとりのつまずきに対して、補充学習を行う。(担任、校長、教頭、教務)
- ⑨全校一斉に校内テストを実施する。(国語・算数、年5回)
- ⑩家庭学習の課題の内容や出し方を工夫する。(望ましい分量、内容の質)

今年度の新しい試み・予定(予定です。変更になることもあります。)

- ・運動会での教職員・保護者・来賓の種目(5/27)
- ・三八管内複式学級担任者研修会(6/8)
- ・ふるさと水のみち探検(7/18)
- ・複式集合学習への全児童参加(8/31)